



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6490 URL <https://www.pillar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 嘉信

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤井 正博

TEL 06-7166-8248

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	28,072	23.8	6,897	1.2	7,467	2.4	5,169	4.5
2023年3月期第2四半期	22,681	17.9	6,813	29.2	7,292	35.9	5,411	44.0

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 6,216百万円 (6.5%) 2023年3月期第2四半期 5,834百万円 (39.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	221.86	
2023年3月期第2四半期	228.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	89,245	63,794	71.5
2023年3月期	72,492	59,368	81.9

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 63,794百万円 2023年3月期 59,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		54.00		79.00	133.00
2024年3月期		60.00			
2024年3月期(予想)				60.00	120.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

未定としていました2024年3月期の第2四半期末配当金を60円に決定しました。なお、期末配当と合わせた年間配当予想は変更していません。

詳細は、2023年11月14日公表の「剰余金の配当(中間配当)の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)2024年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 特別配当 10円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	17.0	12,500	9.7	12,500	11.6	8,500	18.5	361.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	25,042,406 株	2023年3月期	25,042,406 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,733,561 株	2023年3月期	1,744,163 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	23,302,787 株	2023年3月期2Q	23,647,788 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化が徐々に進展し、緩やかな回復基調にあります。しかし、急激な円安やインフレの進行によるエネルギー、原材料の価格高止まりなど、景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。また、世界経済においても、総じて緩やかな回復基調にありましたが、ロシア・ウクライナ情勢等の地政学リスク、中国経済の減速、各国の金融政策の動向、資源価格・物流費の高騰、半導体不足問題など、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、電子機器関連事業においてパソコン携帯電話等の市況は低調であったものの、車載用途関連の半導体設備投資が好調だったことにより、売上高は前年同期比で増加いたしました。また、産業機器関連事業では海外ユーザ向けを中心にエネルギー関係及び石油プラント向け補修品需要が堅調に推移したことに加え、株式会社タンケンシールセーコウが当社グループ入りした影響もあり、売上高は前年同期比で増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高280億72百万円（前年同期比23.8%増）、営業利益68億97百万円（前年同期比1.2%増）、経常利益74億67百万円（前年同期比2.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益51億69百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、電子機器関連事業は197億80百万円（前年同期比16.9%増）、産業機器関連事業は82億71百万円（前年同期比44.1%増）、その他部門（不動産賃貸業等）は21百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、電子機器関連事業は56億57百万円（前年同期比0.8%増）、産業機器関連事業は12億25百万円（前年同期比3.6%増）、その他部門（不動産賃貸業等）は14百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べ167億53百万円増加し、892億45百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、未払金の増加等により前連結会計年度末に比べ123億26百万円増加し、254億50百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により前連結会計年度末に比べ44億26百万円増加し、637億94百万円となりました。

この結果、自己資本比率は71.5%（前連結会計年度末は81.9%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、下記の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは25億59百万円（前年同期は23億69百万円）となりました。その主な要因は税金等調整前四半期純利益74億5百万円（前年同期は77億11百万円）、売上債権の増減額△17億2百万円（前年同期は△20億88百万円）、法人税等の支払額又は還付額△24億85百万円（前年同期は△29億10百万円）によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは△59億47百万円（前年同期は83百万円）となりました。その主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出△11億8百万円（前年同期は△5億92百万円）、子会社株式の取得による支出△51億43百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは△30億17百万円（前年同期は△14億66百万円）となりました。その主な要因は配当金の支払額△18億38百万円（前年同期は△14億38百万円）、長期借入れによる収入15億円、長期借入金の返済による支出△21億75百万円によるものであります。

その結果、現金及び現金同等物は前期末比55億20百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は167億63百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,458	16,780
受取手形及び売掛金	11,178	13,157
電子記録債権	5,812	7,399
商品及び製品	943	1,561
仕掛品	2,008	2,624
原材料及び貯蔵品	1,771	2,886
その他	435	1,362
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	44,605	45,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,416	20,798
機械装置及び運搬具(純額)	2,343	3,111
土地	4,614	5,286
その他(純額)	2,750	1,935
有形固定資産合計	21,124	31,132
無形固定資産		
のれん	—	4,432
その他	242	458
無形固定資産合計	242	4,891
投資その他の資産		
投資有価証券	5,693	6,504
退職給付に係る資産	433	458
その他	411	508
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	6,520	7,452
固定資産合計	27,886	43,475
資産合計	72,492	89,245
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,189	2,223
電子記録債務	278	1,869
短期借入金	1,250	750
1年内返済予定の長期借入金	—	400
未払金	1,442	7,896
未払法人税等	2,321	2,276
賞与引当金	958	1,245
その他	1,052	4,474
流動負債合計	10,492	21,135
固定負債		
長期借入金	100	1,125
退職給付に係る負債	1,556	1,920
資産除去債務	164	187
その他	810	1,082
固定負債合計	2,631	4,315
負債合計	13,124	25,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,222	5,257
利益剰余金	48,300	51,629
自己株式	△2,562	△2,546
株主資本合計	55,927	59,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,317	2,888
為替換算調整勘定	1,020	1,504
退職給付に係る調整累計額	102	95
その他の包括利益累計額合計	3,441	4,488
純資産合計	59,368	63,794
負債純資産合計	72,492	89,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	22,681	28,072
売上原価	12,421	16,251
売上総利益	10,259	11,821
販売費及び一般管理費	3,446	4,924
営業利益	6,813	6,897
営業外収益		
受取配当金	75	280
為替差益	356	227
その他	61	76
営業外収益合計	493	584
営業外費用		
支払利息	1	10
固定資産処分損	11	3
その他	0	1
営業外費用合計	13	15
経常利益	7,292	7,467
特別利益		
固定資産売却益	—	57
投資有価証券売却益	33	18
関係会社清算益	517	—
特別利益合計	551	75
特別損失		
固定資産売却損	—	36
工場建替関連費用	132	100
特別損失合計	132	137
税金等調整前四半期純利益	7,711	7,405
法人税、住民税及び事業税	2,257	2,234
法人税等調整額	42	0
法人税等合計	2,300	2,235
四半期純利益	5,411	5,169
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,411	5,169

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,411	5,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△395	570
為替換算調整勘定	781	483
退職給付に係る調整額	37	△7
その他の包括利益合計	423	1,047
四半期包括利益	5,834	6,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,834	6,216

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,711	7,405
減価償却費	919	1,073
のれん償却額	—	233
工場建替関連費用	132	100
固定資産売却損益 (△は益)	—	△20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	52	67
退職給付に係る資産負債の増減額	△9	△46
受取利息及び受取配当金	△77	△284
支払利息	1	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	△33	△18
関係会社清算損益 (△は益)	△517	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,088	△1,702
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△546	△1,242
仕入債務の増減額 (△は減少)	1	45
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△185	△1,044
その他	△156	198
小計	5,204	4,775
利息及び配当金の受取額	77	284
利息の支払額	△1	△15
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,910	△2,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,369	2,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	163
有形及び無形固定資産の取得による支出	△592	△1,108
有形固定資産の売却による収入	—	96
投資有価証券の取得による支出	△27	—
投資有価証券の売却による収入	54	59
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,143
関係会社の清算による収入	655	—
その他	△6	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	83	△5,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△500
長期借入れによる収入	—	1,500
長期借入金の返済による支出	—	△2,175
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,438	△1,838
その他	△26	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,466	△3,017
現金及び現金同等物に係る換算差額	637	884
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,624	△5,520
現金及び現金同等物の期首残高	19,809	22,284
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△266	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,167	16,763

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,920	5,738	22,658	23	22,681	—	22,681
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	16,920	5,738	22,658	23	22,681	—	22,681
セグメント利益	5,613	1,183	6,796	16	6,813	—	6,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,780	8,271	28,051	21	28,072	—	28,072
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,780	8,271	28,051	21	28,072	—	28,072
セグメント利益	5,657	1,225	6,883	14	6,897	—	6,897

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において株式会社タンケンシールセーコウの全株式を保有する株式会社アスパラントグループSPC6号の株式を取得し株式会社アスパラントグループSPC6号及び株式会社タンケンシールセーコウを連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は産業機器関連事業において9,789百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

2023年4月3日に株式会社タンケンシールセーコウの全株式を保有する株式会社アスパラントグループSPC6号の株式を取得し株式会社アスパラントグループSPC6号及び株式会社タンケンシールセーコウを連結の範囲に含めたことに伴い、当第2四半期連結累計期間においてのれんが4,432百万円増加しております。

(重要な後発事象)

(社債の発行)

当社は2023年11月14日に開催した取締役会において、国内無担保普通社債（グリーンボンド）の発行について包括決議を行いました。その概要は以下のとおりです。

- (1) 発行総額 : 120億円以内
ただし、この金額の範囲内で複数回の発行ができるものとする
- (2) 発行価格 : 各社債の金額100円につき100円
- (3) 利率 : 固定金利2%以内
- (4) 償還期限 : 6年以内
- (5) 発行時期 : 2023年12月1日から2024年3月31日まで
- (6) 償還方法 : 満期一括償還
- (7) 資金使途 : 設備資金等